

平成30年 9月21日

長与町議会  
議長 内村 博法

## 研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条の2の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 市町村議会議員研修「2日間コース」  
《研修テーマ・講師》  
自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～  
講師：関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科  
教授 稲沢 克祐氏
2. 研 修 日 時 平成30年 7月25日～ 7月26日（2日間）
3. 研 修 先 全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）
4. 研 修 目 的 議員の資質向上及び議会の活性化に資するため
5. 研 修 参 加 者 中村 美穂議員
6. 所 見

自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～という内容で2日間研修を受講してきた。講師は関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授の稲沢克祐氏で、自治体の財政について多くの著書を出版されている。

まず、1日目はオリエンテーションの後、決算の意義と審査のポイントとして、自治体決算の基礎から法定書類についての用語の基礎知識について学び、決算審査における着眼点として

- (1) 予算審議（当初・補正）との関連から審査する。
  - ・ 予算の執行によって、目指す目的は達成されたのかどうか。
  - ・ 予算審議における質疑は、執行の中で遵守されたのかどうか。

- 付帯決議がある場合には、決議内容は実行されたのかどうか。
- (2) 住民の視点から審査する。
- 予算の執行によって財政状況はどのようになったのか。
  - 財政状況の好転に向けた行財政改革は進められたのか。
  - 財政状況の中で、実施すべき行政サービスは目的を達したのかどうか。
- (3) 全体を捉えてから、細部の議論。まず、木の大きさ（全体の規模）から、枝ぶり（全体の構成）、そして、葉っぱ（各事務事業）を見ていく。

決算審査においては、財務数値、財産、成果のそれぞれの視点から、まず分析する。

- (1) 財務数値の視点
- 決算規模の年度比較
  - 決算収支の状況の年度比較
  - 予算の執行状況の分析
  - 財政構造の分析
- (2) 財産の状況
- 施設等
  - 出資団体等
- (3) 成果の検証

決算審査の実践として、秩父市の決算資料を使って、決算書、決算カード財政状況一覧表、類似団体比較カードを用いて演習を行なった。収支健全性の分析、弾力性の分析、財政的ストックの視点、どれも非常に難しかった。

2日目は決算審査の新しいアプローチ、行政評価等を用いた決算審査の実践について講義があった。

自治体の財政は、自主財源（地方税、使用料、手数料、寄付金など）と依存財源（地方交付税、国庫・（県）支出金、地方債から成り立っているが、それを決算審査の際、予算の執行の目的は達成されたのか、工事は計画通り執行されたのか、公共施設の整備と管理運営は適切であるのか、地方債の残高の変化、財政力の変化をチェックすることが重要である。また、公共施設の老朽化や住民の利用率も自治体の財産として考えるべきである。

決算審査については決算書の数字、前年との比較、事業の執行等を重点に審査してきたが、この研修を受講して、今後はもっと大きな枠組みで決算をとらえ、自治体の財産、事業実施における住民サービスの有効性等にも配慮した決算審査に臨みたいと思った。